



2023年5月19日

## 「G7 広島サミット」において、海外メディアの方の 医療サポートとして救急タグを配付します ～急変時、医療機関受診時の問診の円滑化をサポート（多言語対応）～ （国際メディアセンターで5/18～5/21まで配付）

### ❖ 概要

大阪大学医学部附属病院高度救命救急センターでは、5/19（金）から広島で開催されている G7 広島サミットにあわせて、海外メディアの方が集まるメディアセンターで NFC 版救急タグを配付し、希望者には、その場で健康情報を登録する取組を行っています。

救急の現場に患者の医療情報を確実に届け、安全で効率的な救急医療の実現を目指すため「救急タグ（既往歴、内服薬、アレルギー情報等を折りたたみ式のカードに記載し携帯できる形にしたもの）」の普及に取り組んでいます。また、産学連携の枠組み\*<sup>1</sup>を活用し、NFC（near field communication）チップに既往歴、内服薬、アレルギー情報を登録・読み出しができる専用のアプリケーションを BIPROGY 株式会社とともに開発しました。

本アプリケーションでは、多言語対応（登録は多言語、読み出しは日本語）が可能なため、アフターコロナで増加が予想される海外渡航者の健康情報の緊急時の共有にも役立つ仕組みと考えています。

本取組により、海外メディアの方が G7 広島サミットで安心して業務できるようにサポートいたします。

【配付期間】5/18（木）～5/21（日）

9:00～17:00（5/21（日）は12:00まで）

【配付場所】国際メディアセンター 正面インフォメーション横

施設名：広島グリーンアリーナ

所在地：〒730-0011 広島県広島市中区基町4-1



左:配布の様子

右:G7 用救急タグはサミットロゴをあしらったピンバッジに NFC チップを封入しています。

### 【取組内容】

メディアセンターの医療班、広島市消防局、廿日市市消防本部に救急タグアプリを配付しています。

救急タグの配付により、医療情報を登録したメディア関係者がメディアセンター内で体調不良となった場合に、医療情報を速やかに共有できることが期待されます。

（ソフトバンク株式会社のご協力により NFC 対応 Android 端末を提供いただきました。）

\*<sup>1</sup> 大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院産学連携・クロスイノベーションイニシアティブが産学連携の促進を目的として実施した研究助成事業「実証研究・事業提案制度」を活用し研究を推進。